

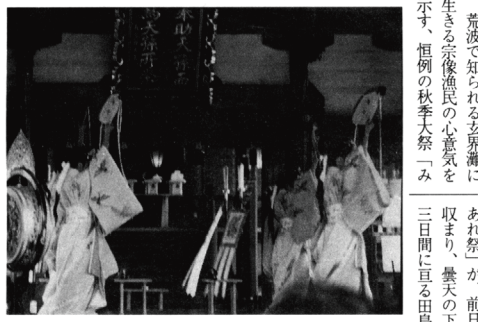


毎月十五日発行 所 社 会 像 宗 像 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 結飾式場用品 福岡店 福岡市博多区東公園二二二番 電話 三三六五二一 三三六五二二

海上絵巻「みあれ祭」

四百五十隻が勇壮に神幸



荒波で知られる玄界灘に 生きる宗像漁民の心意気を 示す、恒例の秋季大祭「みあれ祭」が、前日の時化も 取りまり、曇天の下進行され、 三日間に亘る田島放生会が 始まった。

新しい学習指導要領にもとづく小学校教科書(平成四年から使用)の検定も終了し、目下、各採択地区ごとに採

これは、検定制度が改められて、従来の原簿本・内閣本・見本本の三段階審査が申請図書(従来の原簿本)審査に一本化し、従わなければならない修正意見は従わなくてもよい改善意見の二本立てだったのが修正意見の一つだけになり、各社がリスクを避けて無難な選択をしたためであろう。もちろん、検定におけるチェックが大きな働きを

教科書に関心持ち批評を

「日の丸」にせよ「君が代」にせよ、取り上げられたままで、それに対する尊重の精神を説いたのは殆どない。天皇についても、憲法文言を取り上げただけで、その存在意義は記していない。専断の義務も言わない。日清・日露から大東亜戦争まで、日本の大陸に

この検定の限界をこえた改善の道と、民間における教科書批評をさか

授与品 御祈願お申し込みのお子様には、お守り、十歳船、御幣などを授与いたします。

七五三の案内

毎年十一月十五日に数え生三才の男女、五才の男児、七才の女児をつれて神社に参拝し、今日までの無事発育を感謝し、更に将来の成長を祈願するお祭りです。



宗像の山並みが緑から黄色へ、紅葉の入り混じった鮮やかな色合いを一日と増して、或る日その美しさにはつと魅せられるこの頃である。

大島 原野 英子 雷鳴の強く響けば庭先の百日紅の花波動に揺るる

大島 原野 英子 雷鳴の強く響けば庭先の百日紅の花波動に揺るる

大島 原野 英子 雷鳴の強く響けば庭先の百日紅の花波動に揺るる

# 秋季大祭 齋行

## 神郡宗像の秋を彩る三日間



白風十七号、十九号と相次ぎ、県下も甚大な被害を被ったが、その余韻もまだ...

白風十七号、十九号と相次ぎ、県下も甚大な被害を被ったが、その余韻もまださめやらぬ中、田島藩生として郡民に親しまれている秋季大祭が、十月一日より三日迄盛大に実行され、社頭連日の参拝者で大いに賑わった。

本年は台風の影響により、例年にならぬあわただしい中での大祭準備となったが、沖・中岡宮奉賛会、また地元総代並に協力会の献身的な奉仕により、大祭を迎えることができた。

大祭前日の九月二十日、午後五時より総社地主齋宮祭を各々齋行、明日から

沖・中岡宮の御神輿が玄海魚市場に奉安され、宗像三宮の姫神は一年振りに再会された。

三女神は、玄海魚市場での着御祭を終え、三台の御座車で田島の辺津宮に入御され、入御祭の厳粛な宮司の国家鎮護、五穀豊穡、大漁を祈念する祝詞奏上、地元青年団奉仕による主基地方風俗舞に続いて、河野氏子会々々長、太宰府天満宮前田弥真、鎮国寺立部住職を始め各代表が主事を捧げて、祭典は厳肅裡に実行された。

翌二日、午前八時流籠馬を執り行い、福岡町の宮木氏親子と松尾氏が鳥籠子、直垂姿に威儀を正し、三頭の神馬を駆って馬場道を疾走、馬上より特設された的に向けて次々と矢を射る。

拝観者から盛んな拍手が贈られた。同十一時例大祭齋行。神社庁宗像支部長大澤光信宮司(諏訪神社宮司)外一名による郡内神職奉幣の儀、宮地嶽神社祓禊使・宮久暢氏(宗像市)による奉幣詞、梅津氏外会員の方々が、国民の災難消除と延命祈福を祈念して御舞を奉納。秋晴れの神苑にしばしの静寂が漂い、参拝者は幽玄の世界に入り込まれた。一方境内の露店も祭り気分を一層盛り上げ、参拝者の波は夜遅く迄続いた。

三日、午前十一時総社齋行。玄海中学校女生徒が十二、単衣姿で浦安舞を奉仕し、可憐な舞姿を披露した。総社祭に引き続き高良宮第二宮・第三宮祭、宗像護国神社秋季大祭の齋行、多数の遺族会々々員の外県連、市町村長、議会議長も参列して、平和日本の礎となつて散華された護国の英霊に敬意を祈り捧げた。

午後二時からは港口宗像社中による献祭祭が行われ、秋の神苑に鮮やかな御座車前、濃茶を立て、神前にお供えされた。

三日間に亘る秋季大祭も、好天に恵まれ無事終了、黄金色に輝く稲穂も一段と頭を垂れていく。

初秋の去る九月十九日午前十一時より、宗像大社氏子総代会総代が当大社社務局に於て開催された。

当日は河野氏子会々々長を始め市郡内各地区の氏子総代自余名が参集、神社側より兼父宮司以下職員八名が出席して、定例開催された。

先ず、出光副会長の開会の辞の後、国歌斉唱、神宮並皇居遥拝、敬神生活の綱領唱和が全員で行われた。

河野氏子会々々長、当大社兼父宮司、小山達生課長、職員八名の挨拶が行われた後、当日の議題に入った。始めに秋季大祭齋典日程並びに神賑行事予定を、石

橋儀式課長が説明、氏子総代各位の参拝をお願いした。また、秋季大祭の氏子奉幣使については、当番地区の宗像市で相談され、南郷地区宮田の評議員水野博昭氏に決定した。

次に平成二年度氏子会費についての説明が事務局より行われ、未納の地区は秋祭大祭中、またはしかるべき折に納入いただくようお願いした。

さらに秋季大祭中の受付役員分担の説明が事務局より行われ、総代各位の協力を願ひ入れた。その後、先日の議題に入り、先日行われた第二回氏子会研

議を以て、当大社の神徳宣揚、氏子会の運営などに關して活発な意見、質問があり、担当職員が説明を行つたり考慮を約束するなどして、当日予定の議題の審議を終えた。

協会は閉会の辞を新海副会長が述べ、若木台地区の岡本評議員の感謝の言葉を以て無事終了した。

会議終了後、直会が行われ、和やかな雰囲気の中、秋季大祭の話しに花が咲いた。

この総会が終ると秋季大祭の準備が始まる。当大社の秋季大祭は昔より、田島放生会と称され地元はもろろん神郡あつての祭りであり、一年の安泰と豊作を感謝し、神人相楽との賑いを繰り広げます。

宗像地区の各剣道教室や学校で稽古に励む、小学生から大人迄の男女剣士七百余名が出場、宗像地区最高剣士の栄誉を賭けて熱戦を繰り広げます。

第二十回 奉納剣道大会

期日 十一月一日(十一) 月十四日迄

場所 宗像大社本館第一階

拝観料 三百円

宗像地区囲碁界実力ナンバーワンを決める大会で、宗像郡市内より囲碁愛好家百数十名の有段者が出場、五段以上の実力者による本因坊戦と、一般参加選手による有段者の部とが各々行われ、盤上での熱い闘いが繰り広げられます。

第十八回 宗像大社本因坊戦

期日 十一月四日

受付時間 午前九時三十分から五十分迄

場所 清明殿

秋の盆栽展は、春の盆栽展が早月や藤など花物を中心としたのに対し、松柏類の木物を中心とした盆栽が約五十席展示されます。いずれも、宗像大社奉納盆栽会々々員秘蔵の作品です。これは後の時代になされる最高級の品々である。このころは後の時代になされる一木も上回っている。

観覧時間 午前九時三十分から午後五時迄

場所 折願殿一・二階ロビー

宗像大社氏子会 総代会総会開催 秋季大祭を前に

宗像大社氏子会 総代会総会開催 秋季大祭を前に

宗像大社氏子会 総代会総会開催 秋季大祭を前に

宗像名刀展

期日 十一月一日(十一) 月十三日迄

会場 境内全区域 (夜間照明有り)

表彰式 十一月七日

奉納吟剣詩舞大会

期日 十一月三日

午前八時三十分より

会場 清明殿

奉納柔道大会

期日 十一月九日

開始時間 午前十時より

会場 清明殿

秋季奉納盆栽展

期日 十一月八日(十一) 月十二日迄

会場 折願殿一・二階ロビー

宗像地区の各剣道教室や学校で稽古に励む、小学生から大人迄の男女剣士七百余名が出場、宗像地区最高剣士の栄誉を賭けて熱戦を繰り広げます。

### (ご案内)

## 十一月の各種神賑行事

錦秋の一日を当大社でお過ごし下さい

- 第二十一回 西日本菊花大会
  - 当大社境内庭に、九州・山口各県の菊花愛好家が丹誠込めて作り上げた銘花三千鉢以上を特設展示場に展示する西日本最高、最大の菊花大会です。秋晴れの神苑に大輪・懸崖・盆栽・総合花壇など見事な菊花が咲き競います。
  - 期日 十一月一日(十一) 月十三日迄
  - 会場 境内全区域 (夜間照明有り)
  - 表彰式 十一月七日
- 第五回 宗像名刀展
  - 菊と刀といえば、古来から日本象徴であったように刀に日本人の心をひきつける魅力があります。
  - 今年も多くの愛好者の方々の御協力を得て、鎌倉時代から現代までの直刀・大刀・短刀・脇差・槍等の刀剣類を展示いたします。
  - 期日 十一月三日
  - 午前八時三十分より
  - 会場 清明殿
- 第十七回 奉納吟剣詩舞大会
  - 錦秋の菊花薫る境内に、我が国の伝統と「大相棒神」を伝える吟道に永年精進されている、熊本市に本部を置く清香吟社(会長益中鶴山)社中の会員百十名が、神前に詩吟・剣舞を奉納。清明殿に於て、日頃練習した自慢の喉で、数多くの詩吟剣舞が披露されます。
  - 期日 十一月九日
  - 開始時間 午前十時より
  - 会場 清明殿
- 第十七回 奉納柔道大会
  - 宗像郡市内中学校の二、三年生約七十名が出場、参加選手達は母校の名譽と日頃の練習の成果を發揮せんものと対戦、力一杯の奮戦が繰り広げられます。
  - 期日 十一月九日
  - 開始時間 午後一時より
  - 会場 本殿脇境内 (雨天の場合には玄海中学校体育館)
- 第十九回 秋季奉納盆栽展
  - 秋の盆栽展は、春の盆栽展が早月や藤など花物を中心としたのに対し、松柏類の木物を中心とした盆栽が約五十席展示されます。いずれも、宗像大社奉納盆栽会々々員秘蔵の作品です。これは後の時代になされる最高級の品々である。このころは後の時代になされる一木も上回っている。
  - 観覧時間 午前九時三十分から午後五時迄
  - 場所 折願殿一・二階ロビー

### 一話一話 (11)

## 古代のクニ各々

樂 杏子

先月の中旬、弥生時代中期(約二〇〇年前)で国内最大級の木棺墓が、京都府葛城町馬見の「鎌田原遺跡」から出土。吉野ヶ里と同時期のクニの王墓であることが報告されている。この遺跡は遠賀川の上流で町の南に聳える馬見山(九七八m)の前面に延びる丘陵上に位置している。「この一帯は弥生時代の遺物が密集している」と昔から言われる遺跡の群集地である。墓域は全径二十五mを計り、高さ約二mの盛り土をなし、周囲を二m、深さ五〇cmの溝がとりまく墳丘墓である。墳丘の内には木棺墓八基、土塚墓一基、壘形墓一基(成人用)一基、小人用二の計二十基がある。その内十三基からは赤色顔料が検出されている。この墓域の中心に縦六・四m、横四・m、深さ二・二mの堅穴遺構に、縦三・四m、横〇・九mの組合式箱式木棺がある。現在出土している我が国の弥生時代中期のものでは最大級の木棺である。驚くことに、これらも弥生時代の最大規模の墳墓といわれた福岡市吉武高木の木棺を、長さで約一mも上回っている。

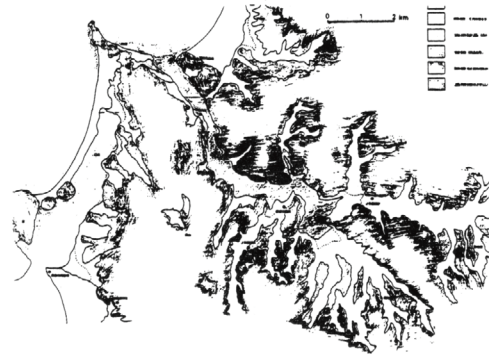
副葬品は中細形銅矛三、銅劍一、石剣一、石鏃六、碧玉管玉一七五、硬玉勾玉八と、当時の権力者が所持する最高級の品々である。これは後の時代になされる一木も上回っている。

三世紀の邪馬台国の時代で三ヶ国の一つ「不弥国」が筑紫のこのあたりにあったという説もある。鎌田原はその時代より一つも一つも前の段階である。遺跡墓は有名な飯塚市立吉武遺跡に近い。筑豊地方も鎌田原の時期、その後の立石の時期など一つのクニが集合し、一大国がまわって形成してきた。稲作農耕の発達とともに常に文化国家が造られてきた。

# 縄文早期の宗像の地勢

## 四七〇〇年前の地図を

### 宗像市史編纂委員会が作製



の岩盤までボーリングし、これらのボーリング調査を基に、地質学、生態学、水産学などの有識者が詳細に分析、その結果を北九州大学の亀山徳彦教授「地質学がまとも再現した」。

地図は、亀山教授によると、当時の年平均気温が現より約一・五度高く、地球上の水が解けていた。さらには年代測定の結果資料となる火山灰のアカホヤから、今から四千七百年前が最も海面の高くなった時期と推定でき、この時期を「海の中道」と同様の地形であったことも判明した。

一方地層の花粉の化石の分析など地質調査から、湾奥部にはアシが密生し湿地帯を形成、一部ポテアオイに似た植物があったと推定できるし、二帯の植生について、この海水的のうっそうとした原生林で覆われていたほか、エノキ、クロマツ、ムクノキなども混在していたようである。またイネ科植物の花粉がそれほど存在せず、草原をなしていたと推定されたいことも今回の調査でわかった。

宗像市史編纂委員会 写真・資料提供

### 宗像郡遺族会研修旅行

#### 立山・黒部アルペンルートと善光寺参詣

去る九月八日より十二日、宗像郡遺族連合会の研修旅行が、会員八十六名参加のもと行われた。

郡内在住の会員相互の親睦と研修を目的に、名所・旧跡を訪れるこの旅行も、今年で十回目を迎へ、今回は富山・長野県を巡る、立山・黒部アルペンルートと善光寺参詣の旅となった。

八日、宗像を出発した一行は、門司よりフェリーに乗船、一晩同船で過し、翌九日、貸切バスにて一路富山県へと向った。最初の目的地、黒部峡谷鉄道では生憎の小雨模様となり、やがて肌寒かったものの、トロッコ電車が楽しめる初秋の山紫水明は、格別な趣を感じさせてくれた。

十日、一行は標高二千数百メートルの山岳地帯を進み、立山・黒部アルペンルートへと赴いた。前日に比べ天候も回復、ルート上の最標高地点・室堂では、澄んだ青



上の地図は縄文時代の地勢に現在の施設を表したものである。

空と清々しい空気に恵まれ、残雪の立山を背景に写真を撮ったり、付近の散策を楽しんだ。

豊かな自然を満喫できた行程は、我々自身も心も洗われるような一日であった。

十一日、朝一番善光寺を参詣。善光寺の案内ガイドを案内で同寺の資料を拝見したり、階段巡りを行った。参詣後一行を乗せたバスは、帰途につき、神戸・六甲よりフェリーも回復、ルート上の最標高地点・室堂では、澄んだ青

期と想定でき、この時期を「海の中道」と同様の地形であったことも判明した。

一方地層の花粉の化石の分析など地質調査から、湾奥部にはアシが密生し湿地帯を形成、一部ポテアオイに似た植物があったと推定できるし、二帯の植生について、この海水的のうっそうとした原生林で覆われていたほか、エノキ、クロマツ、ムクノキなども混在していたようである。またイネ科植物の花粉がそれほど存在せず、草原をなしていたと推定されたいことも今回の調査でわかった。

宗像市史編纂委員会 写真・資料提供



四泊五日の今年の研修旅行も無事終了した。

### オーストラリア探検隊

#### 十七名の民間親善大使

宗像市は今年で市制十周年。その記念事業として少年少女オーストラリア研修使節団を結成した。

平成三年八月二十三日から三十日まで、宗像市内の中学生十七名が、オーストラリア東海岸の各都市を訪問した。

訪問地は、ケアンズ、ブリスベン、ゴールドコースト、クイラルバンプ村、シドニー。国内線とバスを交通手段として北から南への大移動であった。この時期、オーストラリアは冬であるが、北にあるケアンズは海水浴が出来、南にあるシドニーは、長袖、ジャンパーが一般的であった。

団員たちはこんな温度の差などにはおどろき、オーストラリアの大地に満喫した。特に、ブリスベンからバスで約一時間のアナ・ハイスクルとの交流会は、最高の盛り上がりを見せた。

学校の広場でホットドックを食べながら、団員たちは各自が持ち寄った「あや

### 鐘崎海人の先祖を慰霊

#### 三〇〇年ぶりの墓参



同漁協は、この件を鐘崎漁協に編纂し携わる郷土史家日並文夫氏に連絡、日並氏が中野さんと情報交換を重ね、調査した結果、寛文四年(一六六四)一孝保

宗像市は今年で市制十周年。その記念事業として少年少女オーストラリア研修使節団を結成した。

平成三年八月二十三日から三十日まで、宗像市内の中学生十七名が、オーストラリア東海岸の各都市を訪問した。

訪問地は、ケアンズ、ブリスベン、ゴールドコースト、クイラルバンプ村、シドニー。国内線とバスを交通手段として北から南への大移動であった。この時期、オーストラリアは冬であるが、北にあるケアンズは海水浴が出来、南にあるシドニーは、長袖、ジャンパーが一般的であった。

団員たちはこんな温度の差などにはおどろき、オーストラリアの大地に満喫した。特に、ブリスベンからバスで約一時間のアナ・ハイスクルとの交流会は、最高の盛り上がりを見せた。

学校の広場でホットドックを食べながら、団員たちは各自が持ち寄った「あや

宗像市は今年で市制十周年。その記念事業として少年少女オーストラリア研修使節団を結成した。

平成三年八月二十三日から三十日まで、宗像市内の中学生十七名が、オーストラリア東海岸の各都市を訪問した。

訪問地は、ケアンズ、ブリスベン、ゴールドコースト、クイラルバンプ村、シドニー。国内線とバスを交通手段として北から南への大移動であった。この時期、オーストラリアは冬であるが、北にあるケアンズは海水浴が出来、南にあるシドニーは、長袖、ジャンパーが一般的であった。

団員たちはこんな温度の差などにはおどろき、オーストラリアの大地に満喫した。特に、ブリスベンからバスで約一時間のアナ・ハイスクルとの交流会は、最高の盛り上がりを見せた。

学校の広場でホットドックを食べながら、団員たちは各自が持ち寄った「あや

宗像市は今年で市制十周年。その記念事業として少年少女オーストラリア研修使節団を結成した。

平成三年八月二十三日から三十日まで、宗像市内の中学生十七名が、オーストラリア東海岸の各都市を訪問した。

訪問地は、ケアンズ、ブリスベン、ゴールドコースト、クイラルバンプ村、シドニー。国内線とバスを交通手段として北から南への大移動であった。この時期、オーストラリアは冬であるが、北にあるケアンズは海水浴が出来、南にあるシドニーは、長袖、ジャンパーが一般的であった。

団員たちはこんな温度の差などにはおどろき、オーストラリアの大地に満喫した。特に、ブリスベンからバスで約一時間のアナ・ハイスクルとの交流会は、最高の盛り上がりを見せた。

学校の広場でホットドックを食べながら、団員たちは各自が持ち寄った「あや

### 社務日誌抄

- 九月一日 月次祭・風鎮祭 長崎県上田一子氏外二名参拝
- 九月二日 香取神宮権司 高橋昭一氏外十三名参拝
- 九月三日 鹿兒島黒川畑敬子氏参拝
- 九月四日 出光石油化学㈱ 千葉工場長松井久敏氏 出光興産㈱総務部長 津山寿一氏外二名参拝
- 九月五日 内山緑地建設㈱ 出光興産㈱松本支店長 関野武氏・出光中野アポロ会代表表巻泰邦氏外十一名参拝
- 九月六日 宗像大社秋祭大祭打ち合せ四者会談 日本銀行福岡支店中野俊夫氏・福岡銀行赤間支店吉里勇氏外一名参拝
- 九月七日 伊万里市遺族会 四十名参拝
- 九月八日 出光興産㈱水戸支店長宮下佳廣氏・水戸出光会代表渡辺久和氏外二名参拝
- 九月九日 宗像郡遺族会理事會(二十一日迄)
- 九月十日 靖国神社奉賛 伊万里市遺族会三十五名参拝
- 九月十一日 宗像警察署警備課長松村秀雄氏・同係長松尾眞臣氏参拝
- 九月十二日 月次祭 九月十五日 福岡県教育長 御手洗重氏外十一名参拝
- 九月十三日 伊万里市遺族会八十四名参拝
- 九月十四日 宗像警察署警備課長松村秀雄氏・同係長松尾眞臣氏参拝
- 九月十五日 月次祭 九月十七日 福岡県教育長 御手洗重氏外十一名参拝
- 九月十六日 伊万里市遺族会八十四名参拝
- 九月十七日 宗像警察署警備課長松村秀雄氏・同係長松尾眞臣氏参拝
- 九月十八日 伊万里市遺族会九十九名参拝
- 九月十九日 福岡県警察本部長古川昭昭氏参拝
- 九月二十日 秋祭大祭総社 地主参拝・宮宮祭 筑波大学教授三村輝弘氏外一名参拝
- 九月二十一日 秋祭大祭総社 東京からさび島高尾和美氏外五名参拝
- 九月二十二日 伊万里市遺族会八十四名参拝
- 九月二十三日 宗像警察署警備課長松村秀雄氏・同係長松尾眞臣氏参拝
- 九月二十四日 伊万里市遺族会八十四名参拝
- 九月二十五日 宗像警察署警備課長松村秀雄氏・同係長松尾眞臣氏参拝
- 九月二十六日 伊万里市遺族会八十四名参拝
- 九月二十七日 宗像警察署警備課長松村秀雄氏・同係長松尾眞臣氏参拝
- 九月二十八日 伊万里市遺族会八十四名参拝
- 九月二十九日 宗像警察署警備課長松村秀雄氏・同係長松尾眞臣氏参拝
- 九月三十日 伊万里市遺族会八十四名参拝

